

私のライフスタイルと地域社会との関わり

ウー・シャオペイ（中国）

1 自己紹介

- ・札幌に留学、就職、
- ・結婚して、芦別市へ、第1子出産、
- ・夫の転職で北九州市での生活が始まる。
- ・第2子出産後、法廷通訳者名簿登録、
- ・子育て中のお母さんとお子さんの楽しい交流会、子育てフリースペース「いないいないばあ」の立ち上げに参加、
- ・折尾西市民センターで中国語講座を始め、
- ・同センターコーディネーターを経て、
- ・今年度から折尾西市民センター職員

2 北九州市での生活

留学生の時————先生、学校
就職した時————上司や同僚、会社
結婚して出産、子育て————相談する人がいない

- さびしい、心細い、自信がなくなりそう
- 地域に溶け込もう、地域にもっと関わろう、日本文化を知りたい、楽しみたい。

(1) 住居、人間関係など

町内組長経験、

?に思ったこと： 活動する人の名前と夫婦別姓
日本人の夫婦は喧嘩しないか
年齢を聞かない

(2) 子育て

◎出産 出産前、出産後

◎絵本との出会い

子どもとのスキンシップ、日本昔ばなしを通じて日本人の心を知る機会にもなった。

◎子育てフリースペース「いないいないばあ」

…写真①

いろいろなお母さんと接して、孤独なのは自分だけじゃないことを知る（障害児を持つお母さんもいらっしゃって）。

(3) 子どもの教育、幼稚園・小学校とのかかわり

◎言葉の問題だけではない。親が日本の義務教育経験がないため、通知や連絡にふりがなが付いていても、学校の行事などの様子が分からない、例えば、運動会の様子など。

◎親が外国人、夫婦別姓

(4) 抱えている問題

◎病院とのかかわりかかりつけの病院、紹介状

◎高齢になる親、親の老後と自分達の老後

(5) 仕事

◎市民センター中国語講座

地域のボランティアの方に子どもを見てもらっている間、講座を、その時お世話になった方々、今も子育てサポーターとして活躍中

…写真②

◎市民センターでコーディネーター

コーディネーター研修のボランティア講座で学んだこと → 人の態度は自分の鏡、など

…写真③

◎市民センター職員

気楽に始めたお仕事が…いざ始まってみれば、さあ、大変!?

言葉の問題、日本語はむずかしい～、独特な言い回し～

コミュニケーションの力、気持ちを读む、(意外と皆さん個性が溢れる)、本音、根回しなど。

いっぱい助けってもらって、勉強しながら、いろいろな人と接する中で、大分前向きになってきた。

…写真④

(6) 最近の嬉しかったこと：久しぶりに職場を得て、一緒に働く仲間ができたこと、アドバイスしてもらえる人ができたこと。

3 私からの提案

(1) 外国人に関して

- ◎声を掛けて、あいさつを交わして、助け合う気持ちで接してもらいたい（普段から、可愛がって、そして、必要な時には注意）
- ◎町内会に入会してもらい、責任のある役を与えて、行事に参加してもらい、地域の一員ということを感じてもらおう
- ◎外国人の、自分とは違うことに興味を持つ（夫婦別姓、ご主人が料理、価値観など）
- ◎先入観を持たず、必ず自分で接してみる
- ◎日本の文化や習慣などを理解するための日本語フォローアップ教室、文化教室
- ◎病院や学校、社会の仕組みについての説明があったら助かると思います。

外国人との交流は（わざわざ海外に行かなくても）地域にしながら、国際交流できるということ。意外とお得な面もあるかも・・・

(2) 女性の育児に関して

育児中のお母さんへのケア、仕事希望のお母さんが働きやすいように、

最後に、留学当初の目的の一つは、日中間の架け橋になること。いつになったらなれるかなあ、焦ってばかりの時期もあった。今は、毎日の生活、仕事そのものが架け橋になっていると思うようになった。